

卒業生対象：歯科衛生学科

令和7年度福岡医療短期大学 歯科衛生学科同窓会会員(卒業生)へのアンケート

- 歯科衛生学科 26 期生(R6 年度卒)：卒業生 52 名（アンケート郵送 34 名、専攻科生 18 名）
- R8 年 2 月 郵送 回答期間 R8 年 2 月～3 月末
- 回答 26 名

1. 全体概要

卒業生アンケートの結果から、本学歯科衛生学科における教育は、基礎的な知識・技術の習得や専門職として必要な能力の育成において一定の成果が認められる一方、臨床現場で求められる実践的能力についてさらなる充実が期待されていることが明らかとなった。

歯科診療補助関連では、ラバーダム防湿、感染対策、診療室の環境整備、救急蘇生について「現在の教育で十分である」と評価する回答が多く、日常診療で頻繁に実施される基本的な技術については、卒業後も自信を持って対応できていることがうかがえた。一方、口腔内写真の撮影、アルジネート・寒天による連合印象採得、暫間被覆冠の作製・調整・仮着技術、歯周外科手術や抜歯処置のアシスト技術については、「充実すべき」との回答が多く、より実践的な臨床技術の習得を望む傾向がみられた。

歯科予防処置関連では、フッ化物歯面塗布法、スケーラーのシャープニングに関する知識、PMTCの知識など、予防歯科の基本的な項目については教育内容が十分であると評価された。一方、スケーリング・ルートプレーニングの技術やプロービングの知識・技術については、卒業後の臨床現場において重要性を実感する機会が多いことから、さらなる教育の充実が求められていた。

歯科保健指導関連では、PCR の記録の採り方や食事・栄養指導、禁煙支援、妊産婦や成人への歯科保健指導について十分な教育が行われているとの評価が多かった。一方で、ブラッシング指導や歯ブラシの選択・処方に関する教育については、より実践的な指導力の向上を望む意見がみられた。また、口腔介護関連では、すべての項目において現在の教育で十分であるとの評価が得られ、超高齢社会に対応した教育内容が一定の成果を上げていることが示唆された。

汎用的能力（ジェネリックスキル）については、「人と協力しながら物事に取り組む力」「良い行動を習慣として続けられる力」「現在の仕事に関する専門的な知識」「現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ」について、卒業後 1 年目で身についたと回答した者が多く、本学の教育が社会人基礎力や専門性の育成に寄与していることがうかがえた。一方、短期大学でさらに強化・充実してほしい能力としては、「自分の感情をコントロールする力」や「現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ」が多く挙げられ、専門技術のさらなる向上とともに、対人関係やストレスへの対応力を育成する教育の重要性が示された。

教育全般については、「専門領域における知識面での教育は適切であった」と回答した卒業生が最も多く、基礎的な専門知識の習得に対する満足度は高い結果となった。総じて、本学の教育は基礎的・標準的な知識・技術の習得において一定の成果を上げている一方、臨床現場で求められる応用的な技術や実践力、さらにはジェネリックスキルの向上に向けた教育内容の充実が、今後の教育

課程改善における重要な課題であると考えられる。

2. アンケート結果

設問1： あなたの年齢 についてお答えください。

年齢	人数
21 歳	2 名
22 歳	24 名
合計	26 名

設問2： 現在の就職・進学先についてお答えください。

現在の就職・進学先		人数
1	一般歯科	14 名
2	専門歯科（小児歯科・矯正歯科・口腔外科など）	3 名
3	病院歯科（リハビリテーション病院含む）	0 名
4	大学附属病院（歯学部附属・医学部附属含む）	0 名
5	企業	0 名
6	福祉施設	0 名
7	進学・学生（大学、短期大学、専門学校 等）	7 名
8	現在は就職・進学していない（休職中、家事手伝い、専業主婦 等）	0 名
9	その他	0 名

設問3-1： 現在の状況をお答えください

現在の状況		人数
1	卒業してから現在まで同じ勤務先（施設）で働いている	17 名
2	最初の職場を退職したが、1ヶ月以内に歯科衛生士として再就職した	1 名
3	最初の職場を退職し、1ヶ月以上離職したが再就職した	1 名
4	最初の職場を退職し、その後再就職していない	0 名
5	一時的に仕事に就いた	0 名
6	卒業してから就職していない	6 名
7	その他	1 名

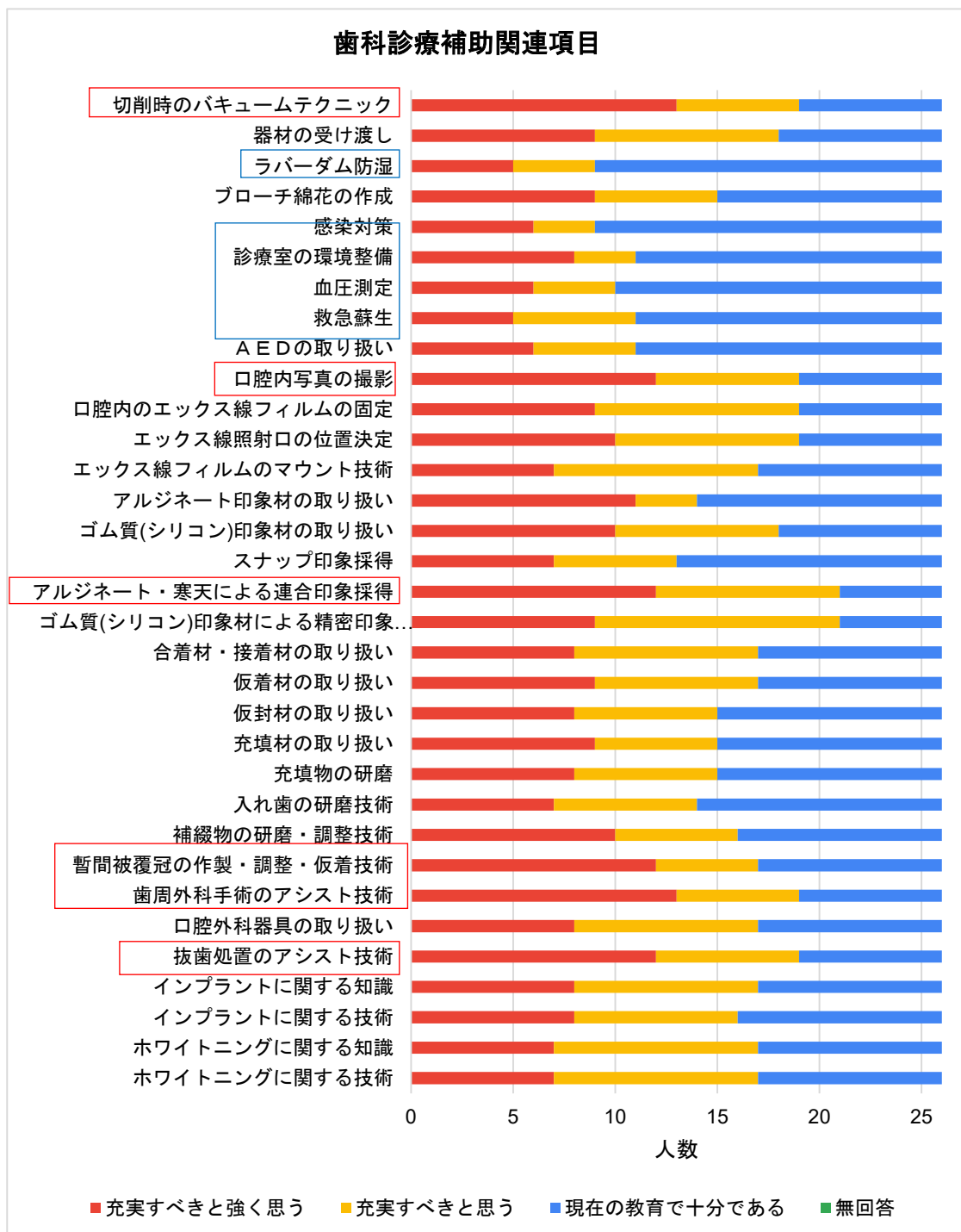
設問3-2： 退職理由はなんでしたか

- 「人間関係・待遇」などの職場内の問題
- 歯科衛生士としてキャリアアップのため

設問 4-1：短大で充実すべき歯科診療補助関連の項目についてお聞かせください。

< 歯科診療補助関連項目 >

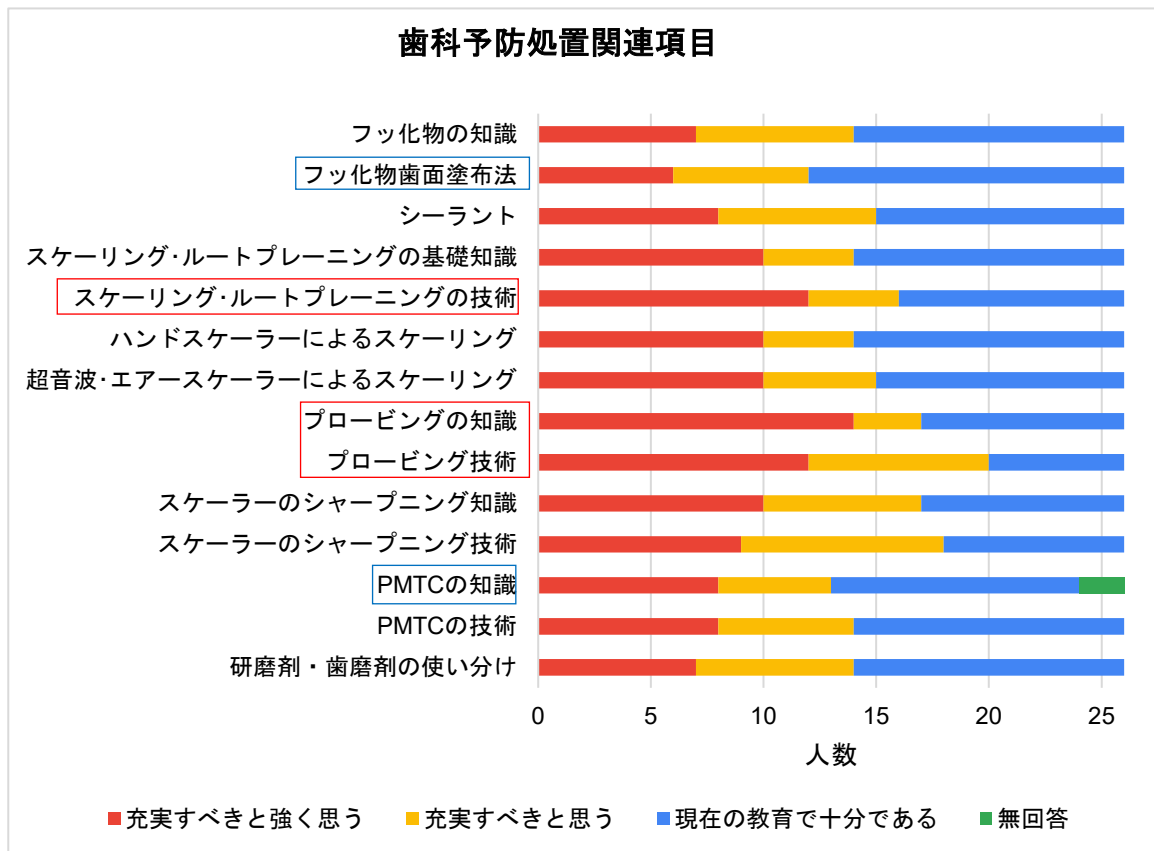
□ は 充実すべきとの回答が多い項目、□ は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目



現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目は、ラバーダム防湿、感染対策、診療室の環境整備、救急蘇生であった。これらの項目は、日常診療で頻繁に行われるため、実践的なトレーニングが充実し、卒業生が自信を持っていると考えられる。一方、充実すべきとの回答が多い項目は、口腔内写真の撮影、アルジネート・寒天による連合印象採得、暫間被覆冠の作製・調整・仮着技術、歯周外科手術のアシスト技術、抜歯処置のアシスト技術であった。

＜歯科予防処置関連項目＞

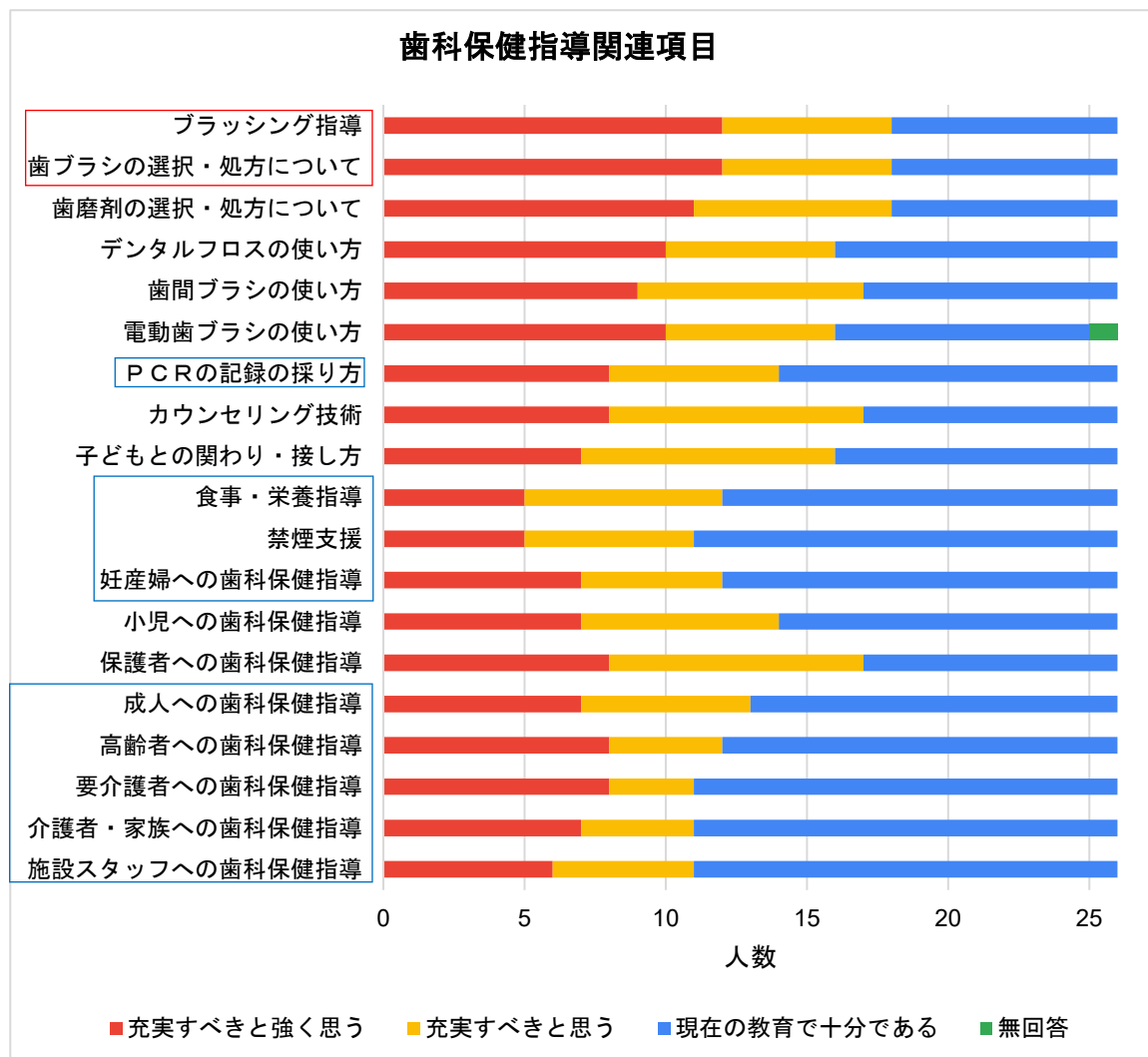
■ は 充実すべきとの回答が多い項目、 ■ は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目



現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目は、フッ化物歯面塗布法、スケーラーのシャープニング知識、PMTC の知識であった。これらの技術は予防歯科診療の基本であり、実際の診療に直結するため、卒業生が自信を持っていると考えられる。充実すべきとの回答が多い項目は、スケーリング・ルートプレーニングの技術、プロービングの知識、プロービング技術であった。

< 歯科保健指導関連項目 >

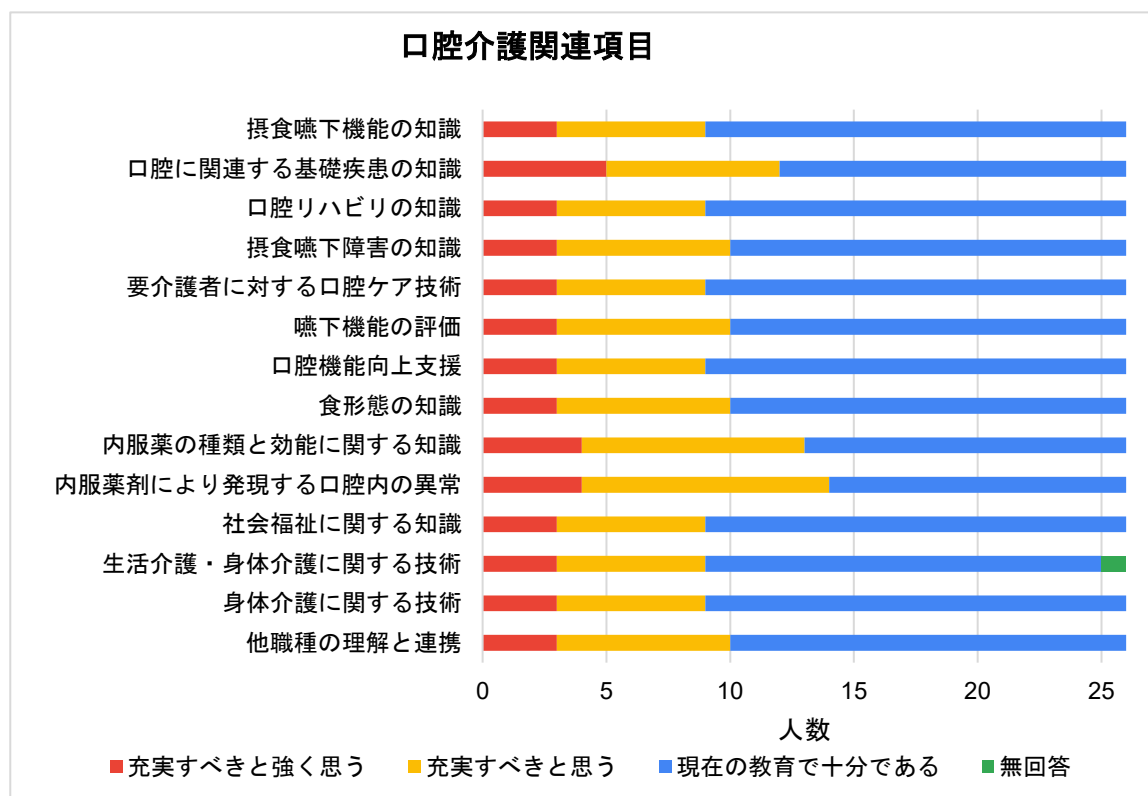
■ は 充実すべきとの回答が多い項目、□ は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目



現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目は、PCR の記録の採り方、食事・栄養指導、禁煙妊産婦や成人などへの歯科保健指導であった。

充実すべきとの回答が多い項目は、ブラッシング指導、歯ブラシの選択・処方についてであった。

<口腔介護関連項目>



すべての項目で現在の教育で十分であると答えている。

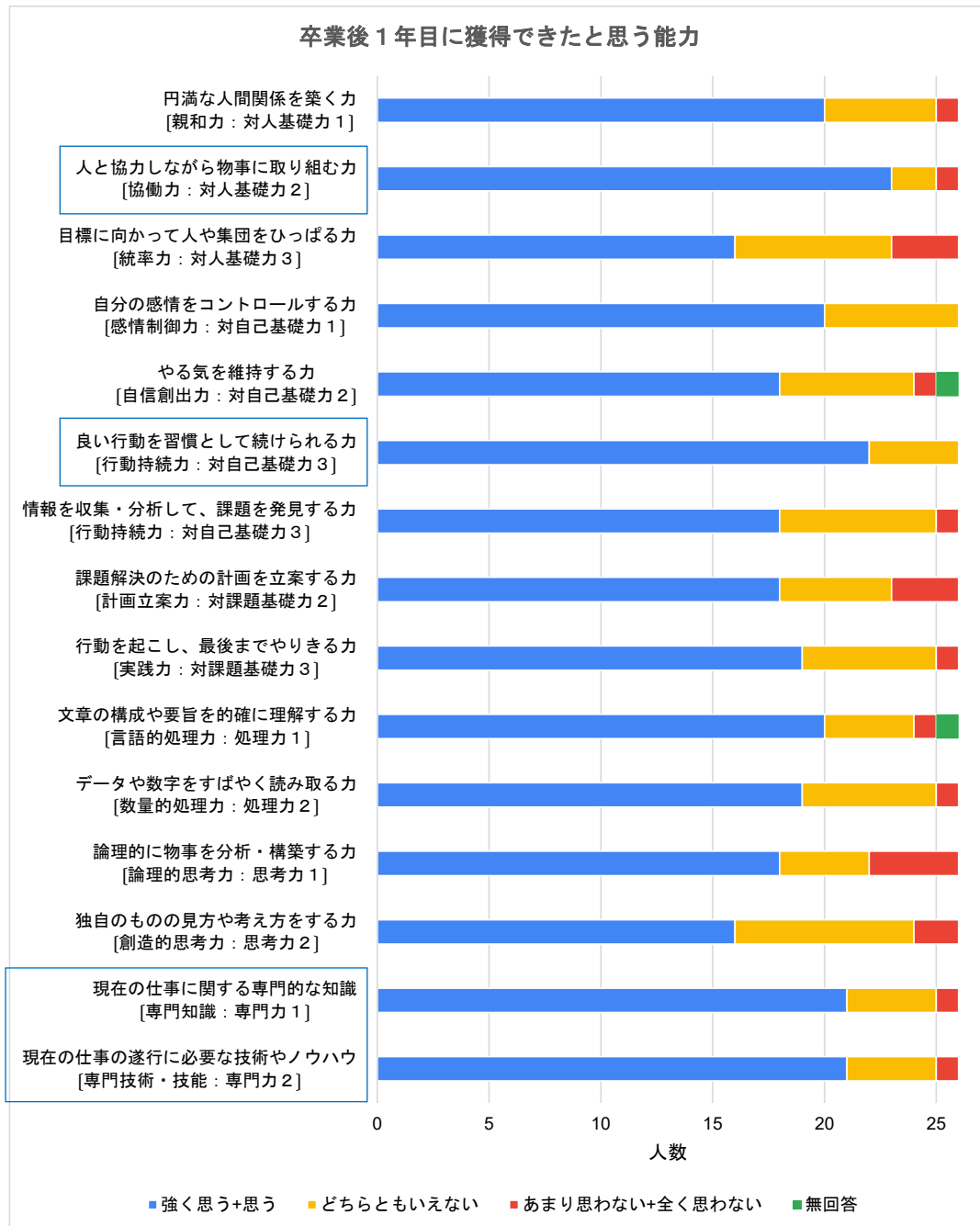
設問４－２ 短期大学の専門教育の中で強化・充実してほしいと思う能力についてあれば、記入してください。（その理由や取組、教育プログラムのアイデアなど）

➤ コメントなし

設問5 15種類のジェネリックスキル（汎用的能力）についておうかがいします。

1) 卒業後1年目に獲得できたと思う能力

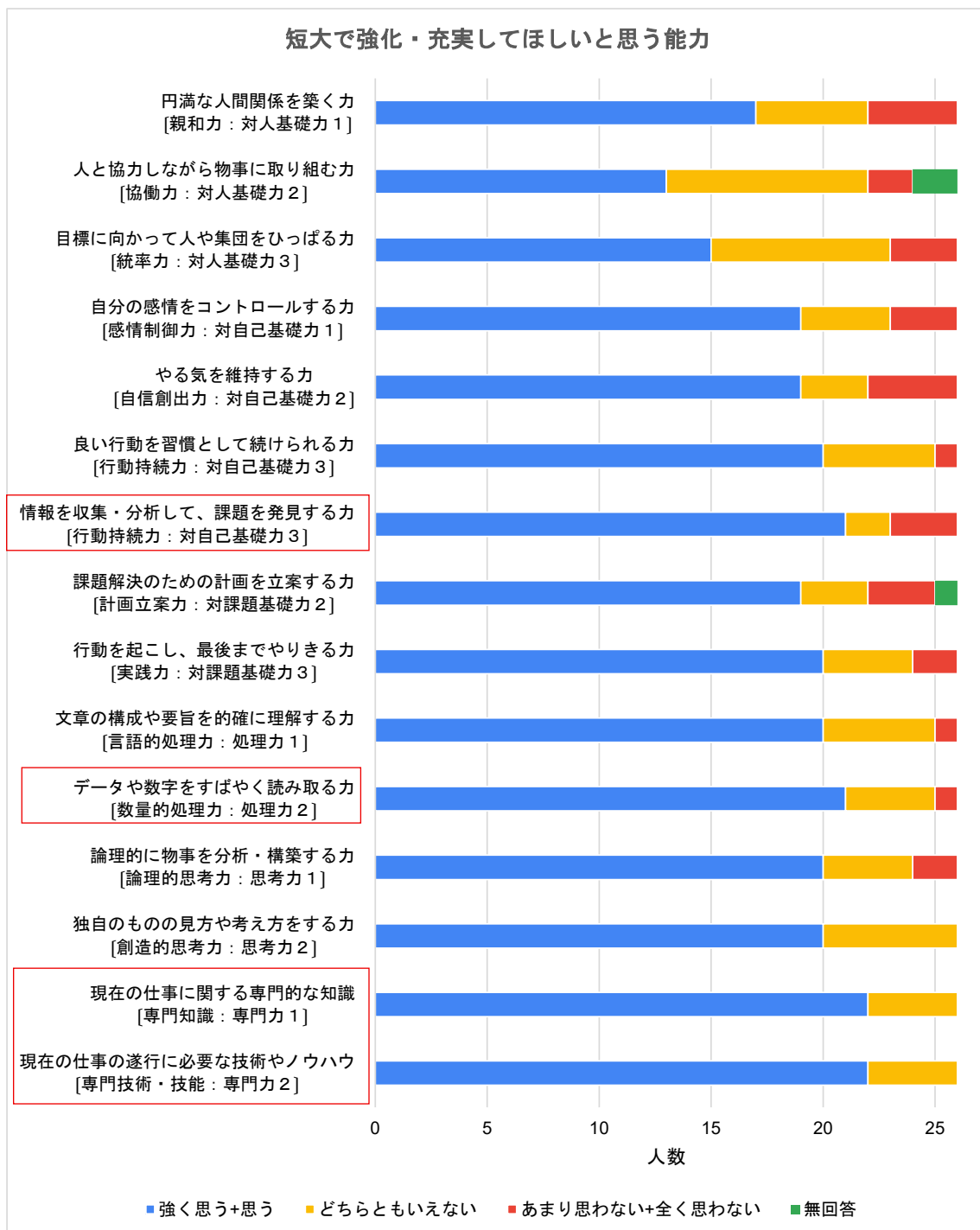
□ は 獲得できたと思う項目



全般的にジェネリックスキルが身についたと答えている。「人と協力しながら物事に取り組む力」、「良い行動を習慣として続けられる力」、「現在の仕事に関する専門的な知識」、「現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ」が、他の項目よりも高かった。

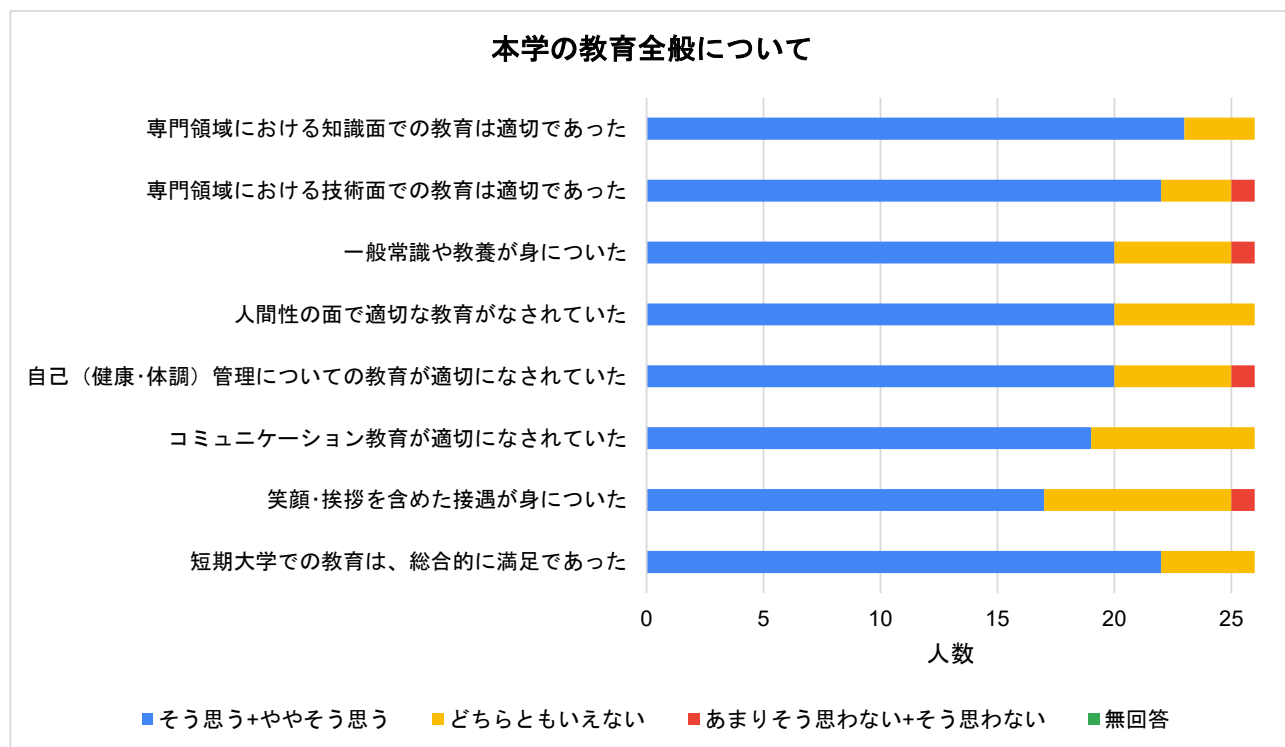
2) 短大で強化・充実してほしいと思う能力

□ は 強く思う・そう思うとの回答が多かった項目



全般的に短大で強化・充実してほしいと思う能力は、ジェネリックスキルの全項目に渡っている。特に「自分の感情をコントロールする力」と「現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ」が、強く思う・そう思うと答えている者が多かった。

設問 6 本学での教育全般について 5 段階の選択肢の中から、選んでください。



「専門領域における知識面での教育は適切であった」と答えた者が多かった。

設問 6-1 本学での教育について、意見や要望、提言があれば、詳しくお聞かせください。

➤ コメントなし

就職先対象：歯科衛生学科

令和7年度福岡医療短期大学 26 期生(R6 年度卒)の就職先へのアンケート

歯科衛生学科 26 期生(R6 年度卒) 就職先 26 施設対象 回答 15 施設

R8 年 2 月 郵送 回答期間 R8 年 2 月～3 月末

1. 全体概要

本調査の目的は、卒業生が就職先でどのように評価されているかを把握し、教育課程の改善や学生指導に反映することにある。本アンケートは、令和 6 年度に本学歯科衛生学科を卒業した第 26 期生の就職先 26 施設を対象として、令和 8 年 2 月から 3 月末にかけて実施したものであり、15 施設から回答を得た。回答率は 57.7%であった。

調査の結果、就職先からは、歯科衛生士として必要となる専門的な知識・技術に加え、コミュニケーション力、協調性、素直さ、誠実さ、向上心、継続的に学ぶ姿勢など、医療人・社会人としての基本的な資質を重視する意見が多く寄せられた。

採用においては、卒業時点での技術の完成度だけでなく、周囲と円滑な人間関係を築く力、他者を尊重する姿勢、スタッフと協力して業務に取り組む力、仕事に対する意欲などが重視されていることがうかがえた。また、実習中の態度や意欲、患者やスタッフとの関わり方も、採用判断の重要な要素となっている。

教育内容については、専門知識・技術に関する基礎教育は一定の評価を得ている一方、スケーリング等の実技教育、患者への説明や声かけを想定したコミュニケーション教育、チーム医療に必要な連携力、リーダーシップやマネジメントに関する教育の充実を求める意見がみられた。

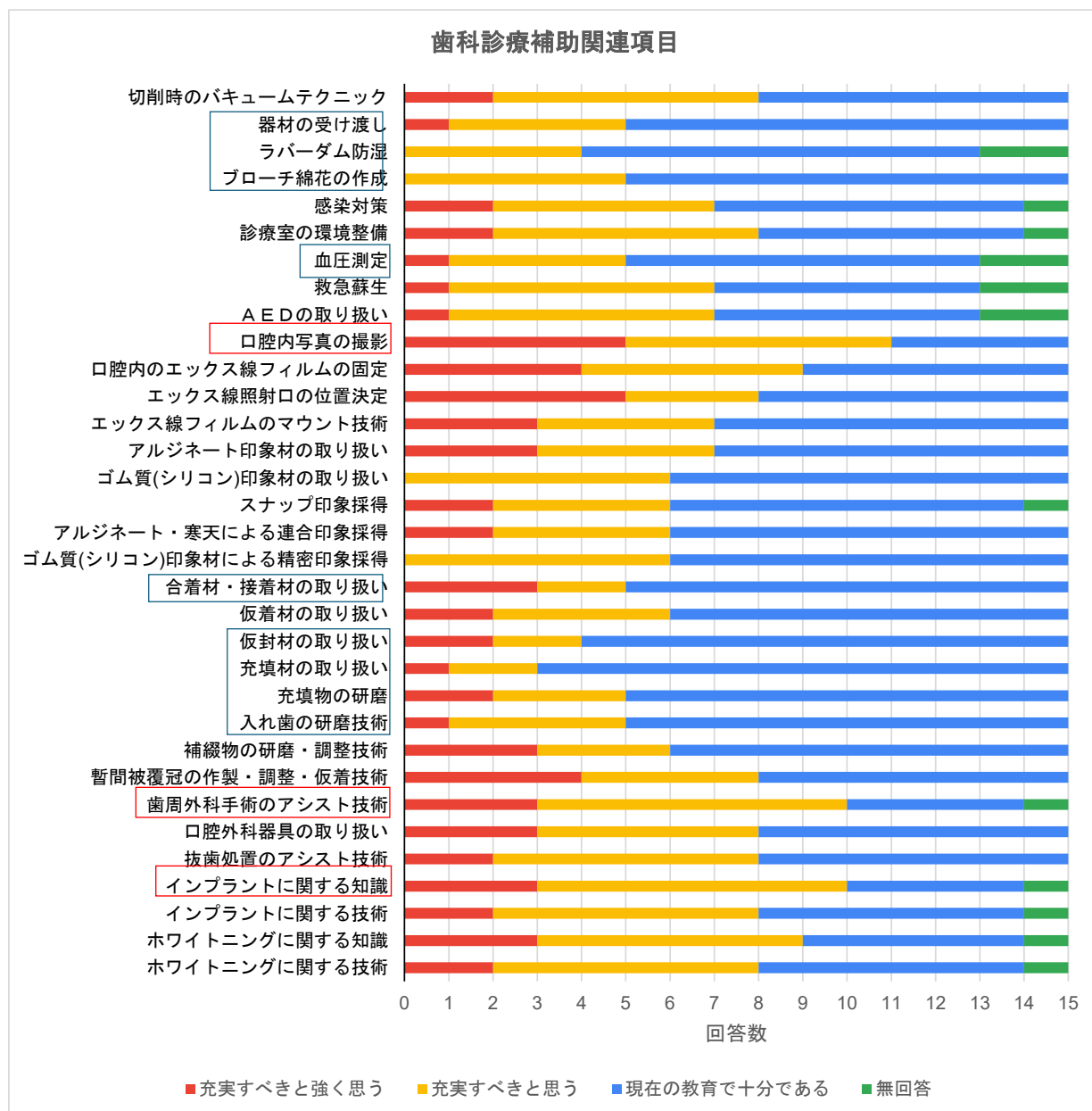
今後は、従来の専門教育を継続しながら、臨床現場を想定した実習やロールプレイングを取り入れ、患者に寄り添う姿勢、自ら学び続ける力、周囲と協働する力を育成することが求められる。これらの結果を今後の教育内容や教授方法の改善に活用し、就職先や地域医療の期待に応えられる歯科衛生士の育成につなげていく必要がある。

2. アンケート結果

設問1：短大で充実すべき歯科診療補助関連の項目についてお聞かせください。

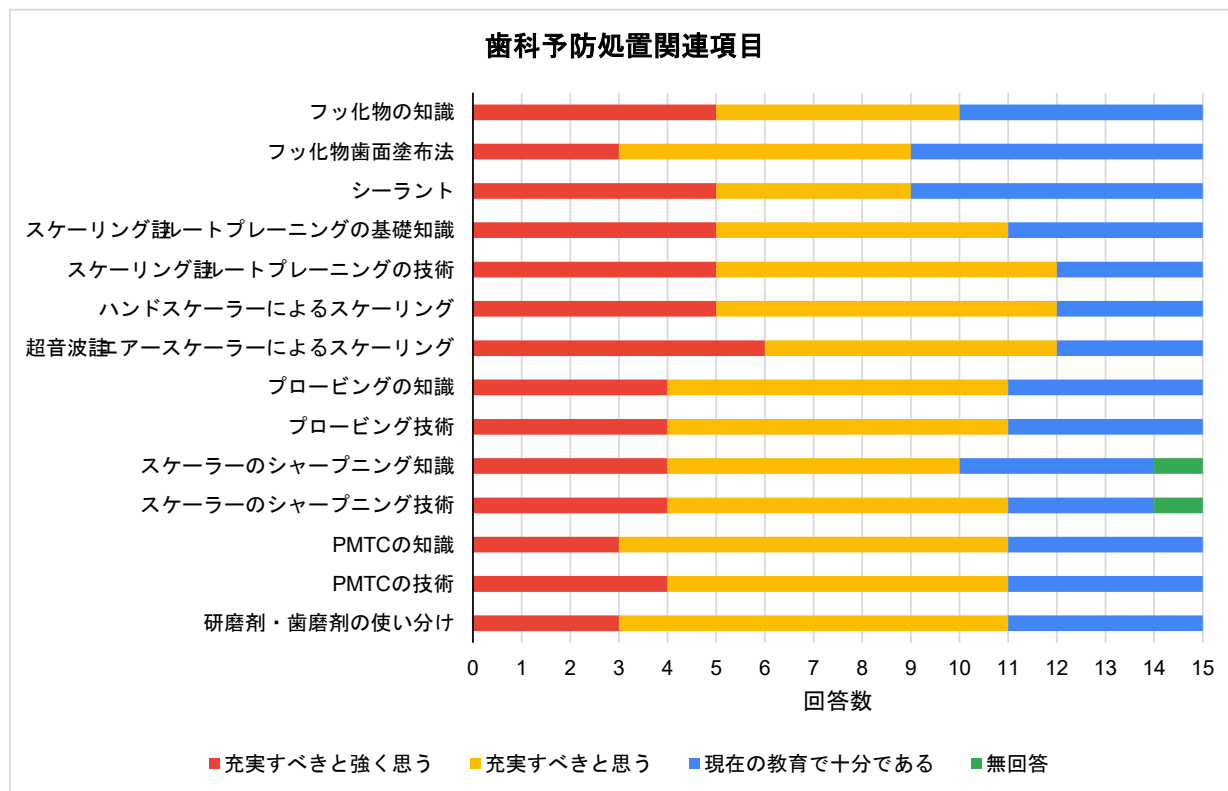
＜歯科診療補助関連項目＞

■は 充実すべきとの回答が多い項目、□は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目



回答からは、基礎的な診療補助に加え、臨床現場で活用できる実践的な手技の充実が求められており、演習や反復実習を通じた技能向上の必要性が示された。

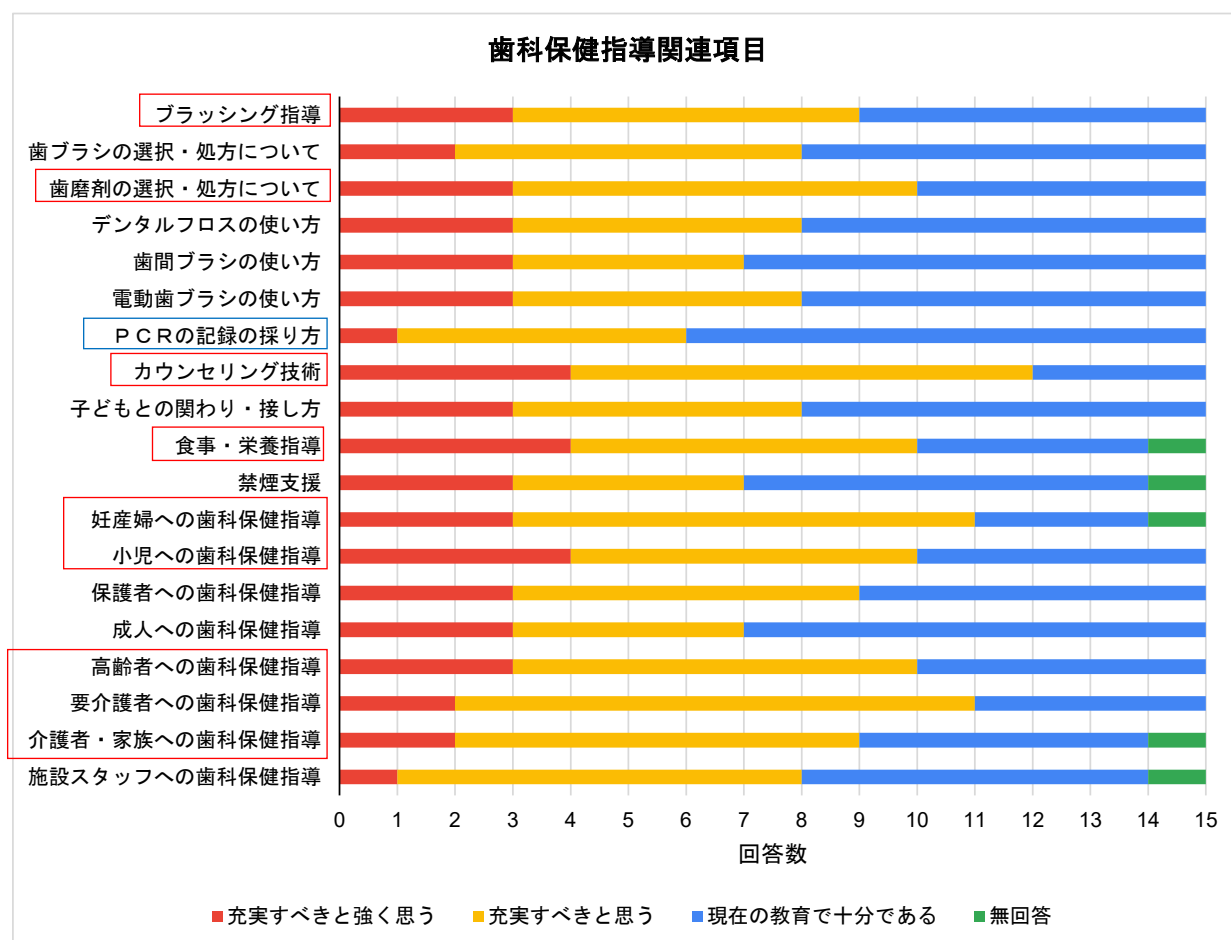
< 歯科予防処置関連項目 >



回答からは、知識の習得に加え、臨床現場で正確かつ安全に処置を行うための実践的な技術教育の充実が求められていることが分かった。

< 歯科保健指導関連項目 >

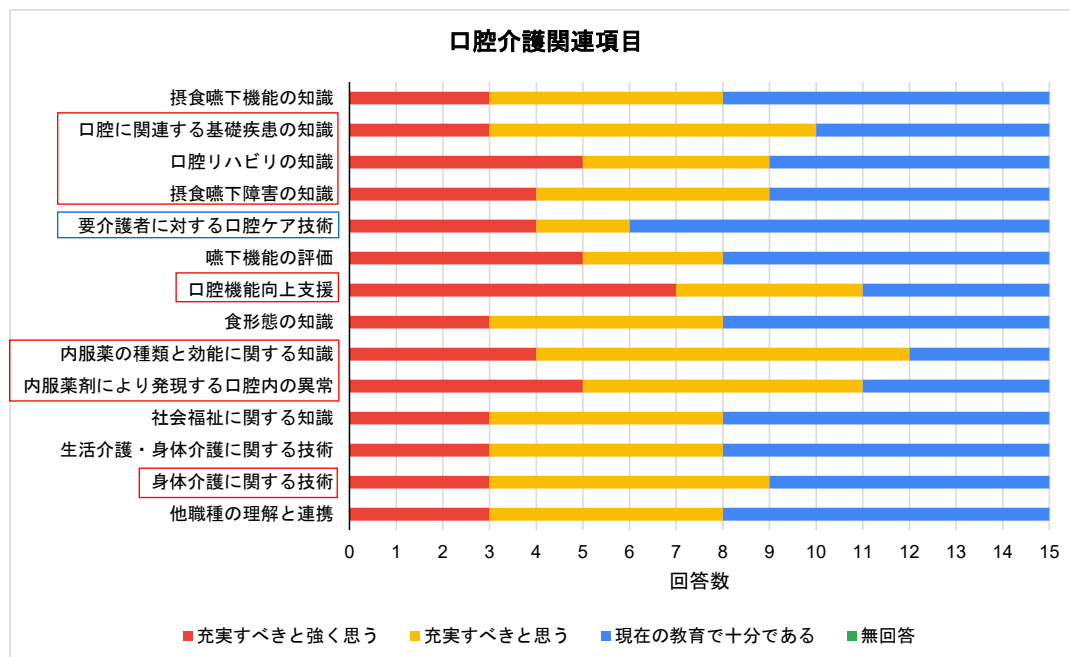
□ は 充実すべきとの回答が多い項目、□ は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目



回答からは、患者の年齢や生活状況に応じて適切に説明し、行動変容を支援する実践的な指導力が求められていることがうかがえる。

<口腔介護関連項目>

□ は 充実すべきとの回答が多い項目、□ は 現在の教育で十分であるとの回答が多かった項目

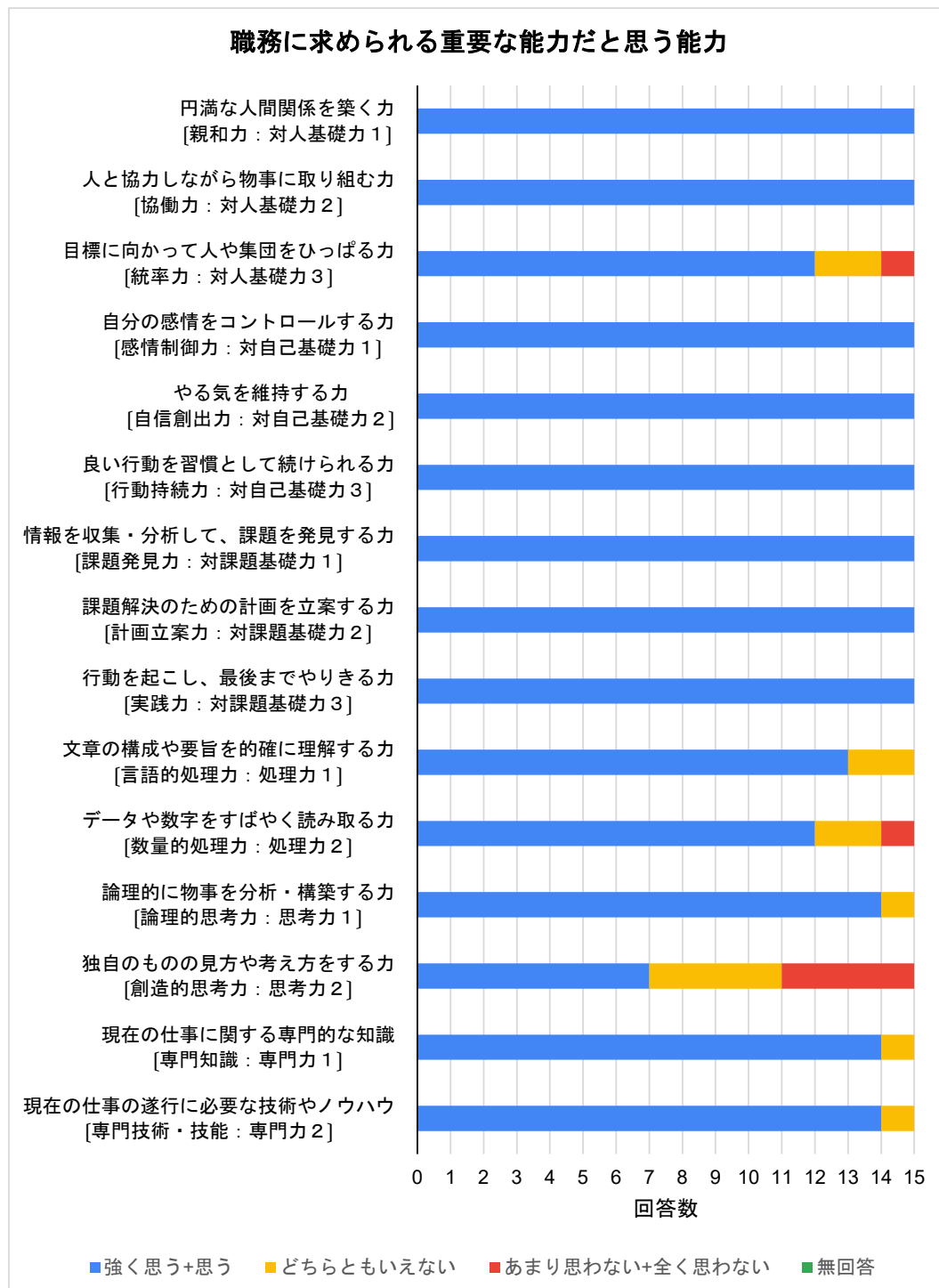


回答からは、高齢者や要介護者の状態を総合的に把握し、安全で適切な支援を行うための知識と技術が求められていることがうかがえる。

設問2 社会人としての能力についてお聞かせください。

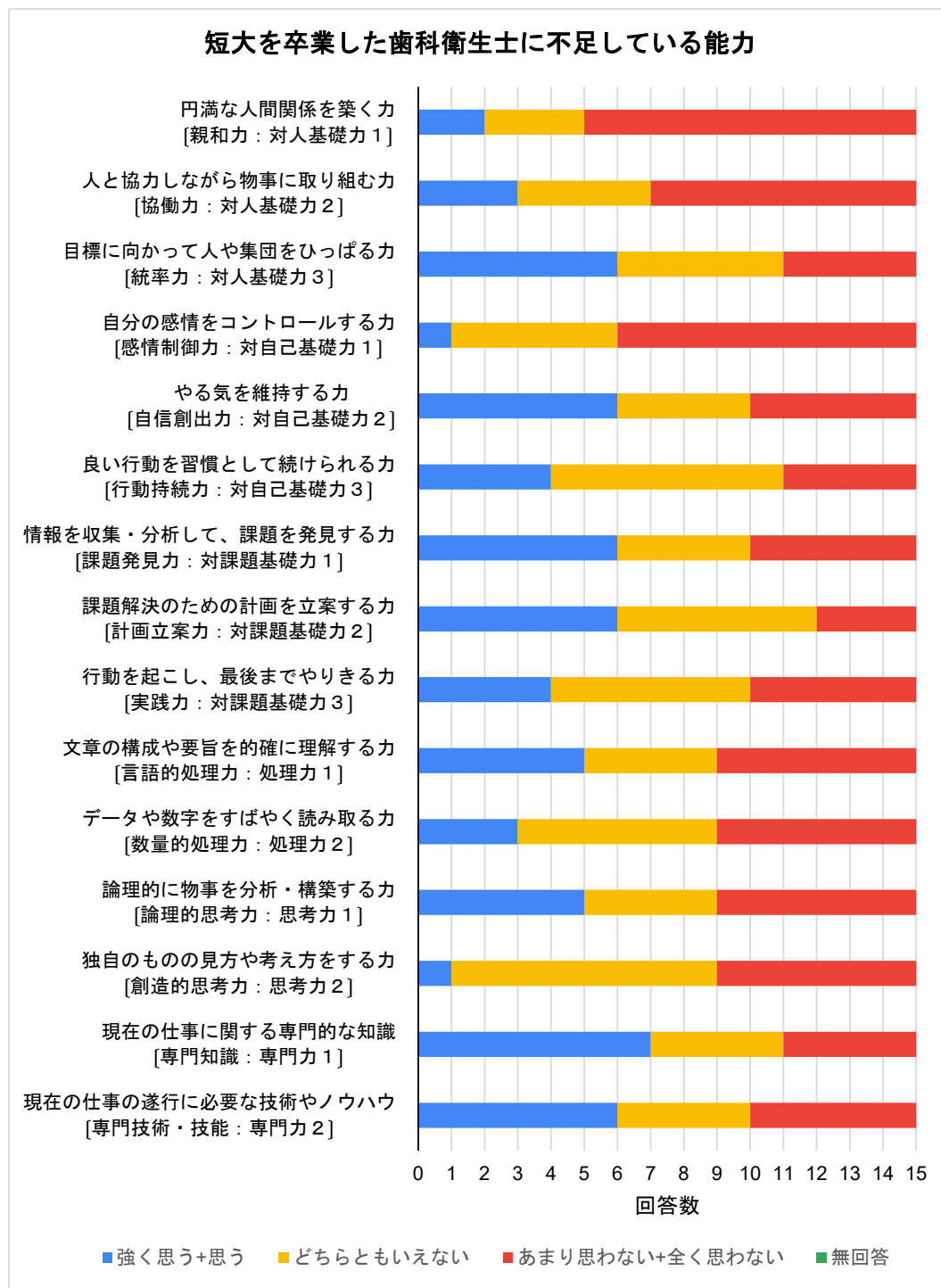
1) 職務に求められる重要な能力だと思う

□ は あまり思わない+全く思わないとの回答が多い項目



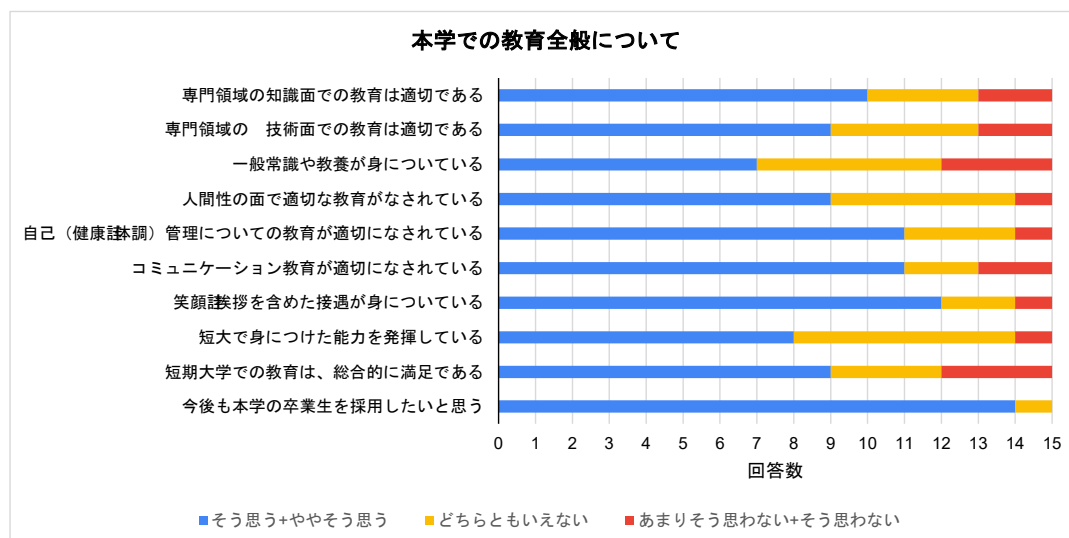
回答からは、専門性だけでなく、周囲と協力し、責任を持って業務を遂行するための総合的な社会人基礎力が重視されていることがうかがえる。

2) 短大を卒業した歯科衛生士に不足している能力だと思う



結果からは、専門性に加え、自ら考えて行動し、周囲と連携しながら業務を遂行する総合的な力の育成が求められていることがうかがえる。

設問3 本学での教育全般について5段階の選択肢の中から、選んでください。



教育全般については、概ね良好な評価が得られており、専門教育と社会人・医療人としての基礎教育が一定の成果を上げていることがうかがえる。

設問4 本学卒業生を採用する理由や、採用選考のポイントについてお聞かせください。

- 自己主張が強すぎない人
- 向上心がある人なら、出身校にはそんなにこだわっていません。
- 周りとは仲良くできるか。継続的に学習できるか
- 卒業直後の技術よりも、他人を尊重して接することができるかを最も重視しています。
- 歯科衛生士不足の中、歯科衛生士を育成し、社会に送り出していただけることに感謝しています。人格的に問題がなく、仕事に対する意識が高い方であれば、採用していきたいと考えています。
- 採用選考のポイントは、素直で誠実な姿勢があるかどうかです。実習で来た方であれば、実習中の意欲や態度、スタッフとのやりとりも含めて選考しております。
- 自立した考えや、職業のプロフェッショナリズムをもっているか。
- 周囲の方との協調性
- 最低限必要な教育はなされている
- これまで採用させていただいた貴校の卒業生はいずれも真面目で、患者様への対応も丁寧で、当院でも信頼して業務を任せることができています。
- 最終的には真面目な人
- やる気と素直さとスタッフに馴染めるかどうかなど

設問5 学生に求める大切な資質・能力についてお聞かせください。また、その理由や育成のためのアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- 知識や技術はもちろんですが、それ以上に医療人としての自覚や、自ら学んで成長しようという姿勢を持てるよう教育してほしいです。

- 素直さ。
- 歯科は生活習慣と関わる疾患が多いので、手技的なことよりも、行動変容を促せるような患者コミュニケーションの基礎ができているといいと思います。
- 自主的にスキルや知識を得たいという向上心がほしい。医療職である以上、生涯にわたり知識をアップデートしていく姿勢が必要なため。
- 将来的な具体的な願望・目標
- 忍耐力、協調性が大切
- コミュニケーション力、素直さ、チーム医療。理由：当院は複合施設内にあり、全世代の方を対象に医療を提供しております。一人ひとりの患者様に安心して治療を受けていただくために、コミュニケーション力はとても大切だと感じています。また、院内スタッフとの連携を円滑にするうえでも必要な力だと思います。アイデア：実習やロールプレイングを通して、患者様への声かけや説明を練習する。技術や知識だけでなく、寄り添う姿勢を大切にできる人材を期待しています。
- 伝達がきちんとできること

設問6 短期大学在学中に実施してほしい教育内容・教授方法についてお聞かせください。また、その理由や取組のアイデアなどがあれば、お聞かせください。

- 短大であれば、リーダーシップを身につける、もしくはリーダーとしての姿勢やチームのなかでのマネジメント術などの教育があっても良いかもしれません。
- 治療前後の変化や審美面も含め、歯科の楽しさを伝えてほしい。

設問7 その他、本学へのご要望、メッセージ等がございましたら、お聞かせください。

- いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。
- スケーラーの扱い方など、もう少し短大教育での実習を増やしてほしいそうです。
- なし。大変優秀な方に就職いただき、感謝しております。
- 今後もしご縁がありましたら、ぜひ貴校の学生の採用を検討させていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。
- 卒業生は頑張っています。当方が忙しく、なかなかまとまった指導時間を確保できないことが悩みです。